

みかんの苗木ができるまで



カラタチの種をまく



発芽したカラタチ



育成中のカラタチの苗



みかんの若木



畑に植付けたみかんの苗木



穂木を接ぎ、育成中の
みかんの苗

★みかんづくりの一年

一年間の主な作業

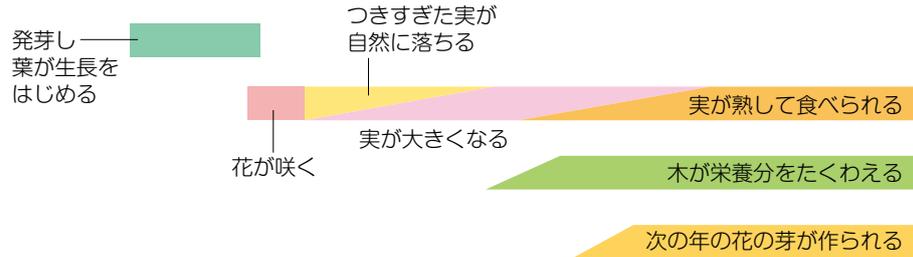
みかん農家はみかんの木の生育にあわせた農作業やみかん園の管理など、一年をとおして、いろいろな仕事をします。芽がでる前にいらぬ枝を切り落とし(整枝・せん定)、くりかえし園の雑草をとったり(除草)、季節ごとに春肥、夏肥、秋肥といった肥料をあたえたりします。花が多すぎると大きなみかんができないので、むだな花をつみとります(摘らい・摘花)。7月からは大きすぎたり、小さすぎたり、傷がつくなどした実を手で取り除き(摘果)、実の数や大きさを調整します。また、病気や害虫が付かないように、薬の散布(防除)も行います。

最近では、より甘くておいしいみかんをつくるため、雨を通さない白い特殊なシートを地面に敷く作業(マルチ被覆)も行なわれています。

おもな農作業



みかんの木の生育



みかんの花の開花から収穫まで



みかんの花の開花 (5月上旬頃)



みかんの幼果 (6月中旬頃)



おおきくなった果実 (9月中旬頃)



みかんの収穫 (11月中旬頃)



色つき収穫前の果実 (11月中旬頃)



色づき始めた果実 (10月上旬頃)

みかんづくりワンポイント

●一本のみかんの木になるみかんの数は？

成長して15年から30年ぐらゐの木が果実をたくさんつけます。収穫の目標は、早生みかんでは1本の木から60～70kgとされています。みかん1個100gとすると、600個から700個となります。しかし、みかんの木はたくさん果実をつけた次の年は、あまり実をつけません。

●摘果とはどんな作業？

みかんの木で葉25～30枚に1個の割合で実をつけると、大ききのそろった味のよいみかんがでます。そのため、たくさん花が咲き実がつきすぎると、大きすぎる実や小さすぎる実、病気になった実や虫に食べられた実を摘み取ってやる摘果という作業を行ないます。

病気や害虫からみかんをまもる

みかんは、太陽などたくさんの自然の恵^{めぐ}みをうけて、もっともおいしくなった時に収穫^{しゅうかく}されます。しかし、自然のままでは、おいしいみかんはできません。1年ごとに、豊作と不作をくりかえしたり、台風がきて強い風が吹くと、実が傷ついたり木が枯れたりします。害虫が葉や実を食べてしまうと、みかんを収穫^{しゅうかく}できないことがあります。雨の多い年には、とくに病気や害虫に注意しなければなりません。

みかん園の整備と機械化

みかんの木は、水はけがよく、たくさん日光があたる南に面した傾斜^{けいしゃ}地が栽培^{さいばい}に適しており、おいしいみかんがでます。このため、傾斜^{けいしゃ}のきつい山地などに、みかん園がつくられることが多くなります。このため、みかん園での作業はきつくて大変です。最近では農作業を楽にするために、みかん園に作業用の道^{らく}をつくったり、水や農薬をまく多目的スプリンクラーを設置したり、傾斜^{けいしゃ}地の仕事を楽にするモノレールなどが使われています。



作業用の道



スプリンクラー



モノレールからトラックへのみかんの積み替え



モノレール

ハウス栽培

ハウス栽培とは、ビニールハウスなどの中で、通常春に咲く花を真冬に咲かせて、季節を半年早める栽培をするというものです。ハウスの中に暖房用のボイラーを入れて、人工的に温度を上げて、温度が上がりすぎると換気扇などで温度を下げて調節します。この温度管理によって、収穫時期をコントロールしています。太陽の光がよく当たるように、ひもでみかんの枝をつり上げたり、水や肥料を与えてやるなどの作業をして、早ければ4月中旬から収穫できるハウスもあります。



みかんのハウス栽培

シートマルチ栽培と完熟栽培

生育期に雨が多く降るとみかんは水分を吸収しすぎて、味が薄くなり(ぼやける)、甘くないみかんになってしまいます。このため、消費者の求める甘くておいしいみかんをつくるためには、園地の地面を乾燥させてみかんが水を吸収しないようにすることが必要です。みかん農家では7～8月頃から収穫までの間、みかん園に白い特殊なシートを敷いて、雨が土にしみこまないように栽培する「シートマルチ栽培」をおこ



シートマルチ栽培実施園

なっています。また、シートマルチ栽培を
すると、シートから反射する光でみかんの
色つきも良くなります。

愛媛県では 2012年(平成 24年)産温州み
かんで、シートマルチ栽培を約 255ha (全
面積の 5%)実施しています。

また、小玉のみかんに袋を掛けて収穫時
期を遅らせ、年明けに出荷する完熟栽培も
行っています。完熟栽培したみかんは木に

長く成らしておくことで、普通に栽培したみかんよりも濃厚な味に仕上がります。



完熟栽培園

★みかんが私たちにとどくまで

たんせいこめて作ったみかんをやさしく、効率良く運ぶ

みかん農家から集められたみかんは、トラックで全国の消費者のもとへはこばれます。
トラックに積み込まれたみかんは、本四架橋を通ったり、そのままフェリーに乗って海を
わたり、全国の消費地まで届けられます。やわらかいみかんをきずつけずに運ぶため、全
農えひめでは直営のダンボール工場ちよくえいで、じょうぶで安い出荷用の箱をつくっています。箱
には、みかんの種類や産地(各地の農協)名が印刷されています。



ダンボール工場